



真中便り

2024. 4. 30 NO. 1
厚岸町立真龍中学校
発行責任者 福田英明

【校訓】 自主・自愛・自省



欠席連絡用
QRコードです

※電話連絡の場合は
8:10以降に!

9月の行事予定

日	曜	行事予定	部活動	給食	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	バス
1	日		U15選手権(バスケットボール) 北海道ジュニア(陸上)									
2	月				1 2 3	学 学 学	○	○	○	○	○	15:50 18:00
3	火	真中祭予備日 ALT			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
4	水	避難訓練(地震)			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	15:45 18:00
5	木	ALT 避難訓練 予備日		図書館バス	1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
6	金				1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
7	土		秋季大会(バドミントン)									
8	日		U15選手権(バスケットボール) 道新旗リーグ(サッカー)									
9	月	全校朝会⑤(表彰) 町研9月研究大会(1年数学公開)	部活動休止		1 2 3	学 学 学	○	○	○	○	○	13:10 14:30
10	火	ALT		SC	1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
11	水	学力テスト総合A(3年生)			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	15:50 18:00
12	木	前期専門委員会⑦(反省)			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	15:20 17:00
13	金	ALT			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
14	土		全道新人(陸上)【帯広】									
15	日		全道新人(陸上)【帯広】 厚岸町吹奏楽フェスティバル 忠和グループ旗(野球) 忠和グループ旗(野球)									
16	月	敬老の日										
17	火	ALT			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
18	水	クリーン厚岸(ジャージ登校)	部活動休止		1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	14:45
19	木	芸術鑑賞会(全学年・3時間目)		図書館バス	1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
20	金	生徒会役員選挙(全学年・6時間目) ALT			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
21	土		道新旗リーグ(サッカー)									
22	日	秋分の日										
23	月	振替休日										
24	火	衣替え準備期間(~27日) 特別支援学級の授業見学(5~6時間目) ALT			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
25	水				1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	15:45 18:00
26	木	学級組織決め			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	16:00 18:00
27	金	前期終業式 第2回英語検定 ALT			1 2 3	○ ○ ○	○	○	○	○	○	15:35 18:00
28	土		道新旗リーグ(サッカー)									
29	日											
30	月	後期始業式(含認証式)			1 2 3	行 行 行	○	○	○	○	○	15:45 18:00

「ありがとう」

校長 福田英明

連日猛暑日が続き、昨年以上の酷暑となっている日本列島ですが、何となく昨年よりは暑くないと感じるのは厚岸や釧路にいるせいでしょうか、それとも暑さを感じなくなるほど私が鈍感になってきたのでしょうか。

この夏、連日パリオリンピックでの日本人選手の活躍に胸が躍りました。陸上やり投げ金メダルの北口選手など道産子選手の活躍は特に心が躍ったように、身近な人の活躍は本当に嬉しいものです。真龍中学校の生徒も夏休み中は活躍していました。吹奏楽部は地域移行となって初のコンクール出場でした。少ない人数ながらも他の人数の多い学校と遜色のない音色を響かせていました。地域移行によってレベルがさらに上がったと感じる演奏でした。

今年の夏の甲子園、開会式で智弁和歌山の辻朝陽主将は、「努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。」と、同校を指導したイチローさんの言葉を用いて選手宣誓をしました。イチローさんは、日米通算で4000本以上の安打を放った世界的なプレイヤーでしたが、そのイチローさんも「4000のヒットを打つには、8000回以上は悔しい思いもしてきている。」と語っています。目的・目標に向かって一生懸命に取り組んでも失敗はします。でも、その失敗は次の成功につながる失敗です。同じ失敗でも、努力をしない失敗からは絶対に成功は生まれません。

今年のパリオリンピックでは、負けたり失敗したりした選手への誹謗中傷が問題となりました。オリンピックに出るだけでも、相当な努力を積み重ねてきたはずなのに、今まで試合を見たことも無いような人から誹謗中傷を受ける理不尽さや悔しさは想像を絶するのではないのでしょうか。

そのような行為をするのは一部の人間です。しかし、自分で努力することもせず、匿名なので表に出ないことをいいことに、勝手に期待して、自分の思っていたような成績を上げられなかったからといって、口汚く非難するのは、人間としてどうかしています。間違っています。

ご存知の方も多いと思いますが、『ありがとう』の語源は「有り難し」です。有るのが稀である、有るのが難しいという仏教の教えが語源となっているそうです。「ありがとう」の反対語が「当たり前」。誰かにやってもらうのが当たり前ではなく、ありがたいことだと思える心を持つ大人に真龍中学校の生徒にはなってほしいと願っています。

夏休みが終わって冬休みまでの長い期間で、中学生は本当に大きく成長していきます。私たち大人が、その成長を当たり前だと思わずに、有り難いことだと感じるためにも、学校とご家庭・地域とが、さらに連携していければと思います。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

日本社会の教師任せの体質を変えるとき

6月8日に、日本中学校体育連盟(以下、中体連)が9競技の開催取りやめ等を盛り込んだ全国中学校体育大会(以下、全中)の改革を発表した。これに対して、早速、開催取りやめとなる競技団体や地方の開連団体等から、「急な発表に唐突感」「キャリア形成において重要な機会(が失われ)」、「生徒の立場になって考える」と残念など困惑する声が上がった。そして、文部科学大臣も「丁寧な議論を重ねるよう依頼した」と述べた。改革を検討した中体連の委員会の委員だった私は、これら3年かけて検討したと知った上で今後対応

青山学院大学教授・西島 央



を迫られる現場との緩衝を狙ったものと察している。しかし、初めて改革のことを知った人が開けば、中体連が拙速に決めたことと誤解しかねない。だが、それ以上に気になるのは、そこで挙げられている理由だ。各種大会の成果で高校進学が決まる生徒がいるのは確かだが、全中に出場する生徒は全国の中学生の1%にも満たない。キャリア形成の機会や生徒の立場を心配するのなら、部活動の地域移行に向けて、同一都道府県内でも区市町村ごとにばらばらに組織体のつくりや運営の仕方が模索されている状況では、これまで中体連の下に統一されてきたような地区大会の開催の仕方が

から考え直さねばならないことや、既存のすべての競技部が地域に移行して存続できる保障はないことの方が、全中学生に関わる重大な問題のほうだ。それを問題にしてこなつたのは、部活動を地域に移しても、大会運営や引き受け手のない競技部は、最後は教師が何とかしてくれと甘えていたからではないか。だから、中体連が全中を縮小すると決めたことに困惑したのは、つまりは、子どもにとっては教師任せという日本社会に染み付いている体質の表れであらう。これは、いづら部活動をはじめ幾つかの業務を減らしたところで、教師の職場環境は改善するまい。今必要なのは、社会の側が教師任せの体質を変えることである。



学校評価アンケート結果

7月に実施いたしました第1回目の学校評価アンケートでは、多くのご家庭にご協力をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。この結果を受け、生徒にとって「楽しい学校」、保護者にとって「安心できる学校」、教職員にとって「働きがいのある学校」を目指して学校改善を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

	教師	生徒				保護者			
		1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体
「目的」「目標」の明示と、生徒・教師・保護者との共有	3.40	3.52	3.42	3.59	3.51	2.78	2.96	2.90	2.88
効果的・効率的なICTの活用による主体性の伸長	3.88	3.76	3.70	3.68	3.72	3.26	3.46	3.25	3.33
R80等の活用による表現力の育成と、論理的思考力の育成	3.53	3.28	3.28	3.62	3.39				
「総合的な学習の時間」の3年間を通じた体系的な指導	3.19	3.51	3.42	3.63	3.52				
効果的な個別最適な家庭学習の推進	2.31	3.10	2.91	2.93	2.99	2.44	2.61	2.35	2.48
学校間接続・学びと指導の連続性を意識した小中連携	2.94	3.78	3.33	3.40	3.53	2.81	2.86	2.60	2.77
小中高の接続と将来を見通したキャリア教育の充実	3.25	3.27	3.00	3.67	3.30	2.78	2.82	3.20	2.91
積極的な情報発信	3.81	3.12	2.91	3.40	3.13	3.22	3.07	3.05	3.12
よりよい生き方を追求する「いじめ不登校対策」	3.19	3.51	3.36	3.53	3.47	3.04	3.21	3.30	3.17
						3以下		3.5以上	

○ICTの活用の評価が高くなっています。日頃の授業での活用状況を見ても、非常に有効に活用されていますし、生徒のスキルの高さには驚かされます。

●家庭学習の評価が低いです。家庭で机に向かう時間を確保するとともに、自分に合った質や量を見極めた学習の取り組み方を考えていく必要があります。

△保護者の評価が全体的に高いとは言えない要因の一つに、学校の取組が直接、またはお子様を通じて伝わり切っていないと推察します。生徒・保護者・学校が、教育活動の目的・目標を明確に共有することが重要であると考えています。

○生徒から、トイレの様式化の要望がありましたが、来年度、実施予定です。

○働き方改革については生徒からも保護者からも概ね理解を得られています。

△授業参観や行事の土曜開催の要望が寄せられました。本校といたしましては、現在の実施方法で目的を十分に果たすことができていることや、国から示されている、授業時数の確保（行事にかかる時数の削減等）や教員の働き方改革などの方針に合わせて、あらゆる教育活動を進めているところです。

○保護者の皆様からは、先生方への感謝のお言葉が多数寄せられました。大変励みになります！ありがとうございます！！

真中生の活躍！！

【吹奏楽】
7月27日（土）〈コーチャンフォー釧路文化ホール〉
■釧路地区吹奏楽コンクール
中学校C編成の部 銀賞



【陸上】
8月25日（日）〈釧路市民陸上競技場〉
■釧路新人陸上競技大会
2年 石山 晴翔 走高跳 第1位

【その他】
8月31日（水）〈釧路市立釧路小学校〉
■「少年の主張」釧路総合振興局地区大会
3年 塚田 皐奈都 優良賞

「みんなの『普通』を認め合う」



避難訓練について

9月4日（水）に、津波を想定した避難訓練を実施します。その際、学校横の坂道を駆け上がり、国道を横断して真龍墓地まで避難します。時間は14時～15時を予定していますが、この時間帯に付近を車で通行する際には、事故等に十分気を付けるよう、ご協力をお願いいたします。帰りは『かざぐるま』横の横断歩道を渡って学校へ戻ります。



全国学力・学習状況調査の結果

国語	真龍中	北海道	全国
全体	58.0	58.0	58.1
選択式	62.3	60.8	61.0
短答式	60.7	61.2	61.8
記述式	44.0	44.1	45.5

数学	真龍中	北海道	全国
全体	45.0	51.0	52.5
選択式	55.7	57.1	58.5
短答式	57.1	65.4	67.0
記述式	18.6	27.8	29.3

生徒質問紙	真龍中	北海道	全国
国語が好き	85.7	67.5	64.3
数学が好き	42.8	52.2	57.2
自分にはよいところがある	85.7	83.0	83.3
先生は認めてくれる	100.0	90.4	90.4
将来の夢や目標がある	85.7	65.4	66.3
1日当たりの携帯やスマホの利用時間	4時間以上…39.3%		
	3～4時間…14.3%		
スマホ等の使用についてのルール	守っている…57.0%		
	約束がない…35.7%		

- ・国語は全国平均並みで、特に注目したいのは記述式の結果です。昨年度は14%下回っていた記述式の正答率が、今年度は全国並みとなりました。これは、日常的に取り組んでいる『R80』と全教科で取り組んでいる授業スタイルの統一による実践の積み重ねの成果と分析しています。
- ・数学は全国平均を7.5%下回る結果となりました。特に記述式の正答率が低くなっていますので、答えを導く過程を、数字などを使いながら自分の言葉で言語化することで考える力の育成を目指します。
- ・勉強が好きかどうかテストの点数としても表れています。意欲的に学習に臨む態度の育成を目指していきます。
- ・自己有用感に関する設問は、概ね肯定的な回答をしています。自己有用感の高さは人生を豊かするための大切な要素の一つです。
- ・携帯やスマホの利用時間は驚きの数字が出ています。これでは、家庭学習の時間を生み出すことは不可能です。
- ・約束がない家庭も多いようです。「使ってよいのは〇時まで！」「寝る部屋には持ち込まない！」など、お子様と話し合いながら約束を決めてください。